

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	地方創生推進プロジェクト	実施期間	H28年度～H31年度	テーマ	その他（地方創生）	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	地方創生推進交付金を活用し、地方における安定した雇用創出、地方への新しいひとの流れ、まちの活性化など地方創生の深化の実現に取り組むのと合わせて、市独自施策の一層の推進による相乗効果により、地方創生を推進する必要がある。						
プロジェクトの目的及び概要	企業への積極的な誘致活動や地元企業や商店街等の事業所を支援し、付加価値の高い産業の振興や新産業の創造につながる環境づくりを支援する。また、観光協会、京都学園大学、市民等との連携・協働による観光PRと情報発信を実施することにより、観光入込客数の増加を目指す。						
	総事業費（千円）	419,030	本年度事業費（千円）	100,102	交付金額（千円）	45,945	
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	企業立地・雇用促進奨励事業	交付対象	市内の特定地域に立地し、指定工場の指定を受けた企業に奨励金を交付した。また、指定工場で市内在住の新規の常時雇用があった場合、従業員一人につき奨励金を交付する。		企業立地奨励金 6件 21,245千円 雇用促進奨励金 6件 19,000千円		
	元気企業支援事業	交付対象	新製品・新技術の開発や販路開拓、職場内の問題解決や活性化等の研究に対しその経費の一部を助成する。		元気企業支援事業補助金 7件 3,609千円 産業支援プロジェクト業事業補助金 1,202千円		
	商店街等イベント事業	交付対象	商店街が実施する魅力ある商店街づくりのための集客イベントに補助金を交付する。		かめおか商店街等活力向上事業補助金 21件 7,724千円		
	ものづくり産業雇用支援事業	交付対象	市内中小企業（製造業等）が新たに市民を正社員として雇用（正規雇用）する場合に、助成金を交付する。		ものづくり産業雇用支援助成金 48人 15,500千円		
	創業支援事業	交付対象	市内において起業を行う場合に、事業所の賃借料や広告宣伝費等に要する経費の一部を補助する。		亀岡市創業支援助成金 4件 1,310千円		
	ものづくり産業経営安定化支援事業	交付対象	企業誘致及び既存立地企業の事業活動の継続・発展のための施策強化と、安定的な経営につながる設備投資に対して助成を行う。		ものづくり産業経営安定化支援助成金 3件 726千円		
	観光環境施設整備事業	交付対象	市内の重要な観光環境整備事業に対して補助金を交付する。		湯の花温泉環境施設整備事業補助金 1,200千円		
	観光情報発信PR事業	交付対象	亀岡をPRする交通広告掲載により、観光入込客数の増加を図る。		JR広告料 2,974千円		
	森の京都推進発展事業	交付対象	森の京都の推進と発展を目的として、イベント開催と伝統文化継承に対して支援を行う。		イベント支援補助金（平和祭事業（花火大会等）、亀岡光秀まつり） 6,140千円 伝統文化継承支援補助金 530千円		
	大河ドラマ決定に係るPR事業	交付対象	2020年大河ドラマ決定に係るPRや先進地視察等を実施する。		明智光秀公のまち・かめおか広報物作成費 165千円 京都・亀岡 明智光秀マップ作成業務委託料 509千円 先進地視察経費 310千円 大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会負担金 750千円		
	森の京都地域振興社（DMO）事業	関連事業	観光地域づくりの推進、地域のプロモーション活動・情報の一元化・発信、特産品のブランド化推進等を図る。		「森の京都」DMO負担金 18,252千円		
移住促進拠点活用事業	関連事業	古民家を改修した移住促進施設を中心とした、城下町地域資源開発、移住定住促進広報、移住関連イベント等を実施する。		移住促進施設事業 38,569千円			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 亀岡市

住民協働事業	官学連携観光資源活用にぎわい創出事業	交付対象	官学連携による、かめまる体操普及事業を実施し、観光資源活用・にぎわい創出に繋げる。	業務委託料（かめまる体操普及事業） 100千円	
	光秀像建立事業	関連事業	ふるさと納税を活用して南郷公園に明智光秀像を建立する事業に対して補助金を交付する。	明智光秀像建立事業補助金 23,825千円	
成果指標②	成果指標の目標数値	観光入込客数 H29：2,909,122人 ⇒ H30：2,920,000人		成果指標の実績値 (H31年3月31日時点)	観光入込客数 H30：2,920,406人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	各種事業や補助金を実施したことにより観光入込客数が増加し、まちの活性化にも繋がった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	各種補助金や事業の実施により、企業や地域住民の活力と本市の知名度が向上したことが、産業と観光振興に繋がった。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	亀岡祭や平和祭花火大会など亀岡のイベントとの連携を図ったことも、観光入込客数の増加に繋がった。			
	住民の自治意識を高める成果	京都学園大学の学生やその他の民間団体、市民等との連携・協働により各々の意見が反映された取り組みのため、自治意識が高まり地域活動に繋がった。			
	行財政改革に資する成果	観光客増加に伴い、地域商店での消費拡大や入湯税等の税込増加に繋がった。			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	定住促進・少子化対策プロジェクト	実施期間	H28年度～H31年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	人口減少と少子高齢化が同時に進行しており、この傾向はさらに加速度的に進行することが危惧されていることから、あらゆる分野において定住促進・少子化対策につながる事業を実施し、将来的な定住人口の増加、誰もが安心して住み続けられる魅力あるまちづくりを推進していくこととする。						
プロジェクトの目的及び概要	「定住人口10万人」の将来目標の実現を目指すため、生活環境の整備、教育環境の充実等、子育てで憧れを持たれるまちづくりを推進する。また、高齢者や障害のある人が必要な支援を受けながら、地域で生活し、社会に参加できるよう福祉サービスの充実を図ることで、健康で元気あふれるまちづくりを目指す。						
	総事業費（千円）	773,465	本年度事業費（千円）	176,454	交付金額（千円）	63,860	
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	コミュニティバス運行事業	交付対象	JR亀岡駅・JR馬堀駅を起点としてその周辺に存在する公共施設などを公共交通のネットワークで結びバスの総合的な利用促進を図るとともに市内観光としての利用促進も図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・篠地区コミュニティバス運行業務委託 18,309,672円 （平均乗客人数 66.2人/日）</li> <li>・亀岡地区コミュニティバス運行業務委託 12,137,593円 （平均乗客人数 218.2人/日）</li> </ul> 合計 30,447千円		
	ブックスタート事業	交付対象	11カ月乳児健診において、絵本の読み聞かせや絵本紹介とあわせて、絵本をプレゼントし、家庭での親子読書を推進する。		絵本配布経費 378千円（570冊配布）		
	ふるさと学習推進事業	交付対象	郷土の偉人や伝統文化・産業等について、自ら学ぶ意欲を育み、亀岡ならではの学校教育を実践することで、ふるさとを愛する子どもたちを育成する。		社会科副読本「わたしたちのまち亀岡」印刷製本費 1,210千円（940部作成）		
	中学校選手派遣事業	交付対象	スポーツ・文化の振興や個性を伸ばす人材育成のため、各大会への選手派遣費用を助成する。		中学校選手、生徒派遣補助金 5,204千円（32件）		
	サイエンスフェスタ事業	交付対象	産官学が連携し、楽しく不思議な科学実験やものづくり等の体験を提供することで、次代を担う子供たちの科学やものづくりに対する興味関心をより一層高めていく。		参加者 約5,000人		
	障害児保育事業	交付対象	民間保育園における障害児保育の充実と児童の健全な発達を助長するため、障害児保育事業に要する経費を支援する。		障害児特別保育事業費補助金 26,550千円		
	民間保育園施設運営費支援事業	交付対象	保育を委託している民間保育園・認定こども園に対し、健全運営を図るため施設運営費に対して支援を行う。		民間保育園運営補助金 88,728千円		
	安心長寿の福祉助成事業	交付対象	70歳以上の一人暮らしの高齢者で市府民税非課税者を対象に、上下水道基本料金の一部を助成する。		安心長寿の福祉助成金 3,581千円		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 亀岡市

住民協働事業	敬老事業	交付対象	高齢者の交流や社会参加を促進するため、地域の敬老事業に対して支援を行う。	敬老事業補助金 15,637千円	
	障害者就労支援促進事業	交付対象	障害者の地域での就労を確保するとともに、さらなる事業の開拓を行います。また、市の業務の一部を委託することで障害者の就労支援を促進する。	障害者就労支援事業委託料 2,997千円 (JR3駅ポイ捨てゴミ実態調査及び美化推進 他30件)	
成果指標①	成果指標の目標数値	コミュニティバス乗車人数 H30 123,000人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	コミュニティバス乗車人数 H30 103,791人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	JR亀岡駅周辺の市街地を公共交通で結ぶことで市民の移動手段を確保し、JRや路線バスと連携したダイヤ編成等、一層の利便性向上を図った。目標乗車人数は下回ったが、H27から実施の篠地区の試験運行についてH30も引き続き実施したことで、試験運転実施前よりも乗車人数の増加が図れた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	保育所入所児童数（公立・私立合計2,230人）、市老人クラブ連合会会員数（2,610人）、障害者就労施設等が行う物品・役務等の提供金額（5,500千円）		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	保育所入所児童数（公立・私立合計2,310人）、市老人クラブ連合会会員数（2,449人）、障害者就労施設等が行う物品・役務等の提供金額（5,476千円）
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	子どもから高齢者、障がいのある人などに対応した事業に取り組んだ結果、多くの分野で定住促進・少子化対策につながる成果をあげることができたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	市民一人あたり年間図書貸出冊数 4.90冊		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	市民一人あたり年間図書貸出冊数 4.56冊
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	蔵書検索やインターネット予約サービス等の充実により、市民のニーズに応じた資料収集及び提供システムが構築されてきていることから、貸出冊数の増加に繋がりにくい状況があるなかで、各種施策により読書環境の充実に取り組むことができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	中学校選手派遣補助件数（市内大会を除く） 40件		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	中学校選手派遣補助件数（市内大会を除く） 32件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	スポーツ・文化活動の奨励、競技力の向上等が図られ、近畿大会や全国大会への出場に繋げることができたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 亀岡市

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>民間保育園の施設運営や障害児保育事業を支援し、子どもを安心して産み育てられる環境の充実につながり、成果指標が達成された。また、障害者就労支援事業においても、障害者の社会参加の促進につながり、成果をあげることができた。高齢者施策においては、成果指標を下回ったものの、安心長寿の福祉助成事業や敬老事業により高齢者が健康で元気あふれるまちづくりの推進につながった。</p> <p>市民一人あたり年間図書貸出冊数は、目標数値を下回ったが、前年度からは微増しており、ブックスタート事業や子ども読書推進事業を通じて、子どもたちが読書に親しむ機会の提供や家庭での読書環境の充実を図ることができた。今後も事業を継続していくことで、本を通じた親子のふれあいや家庭での読書環境の充実につなげていく。</p> <p>中学校選手派遣補助については、成果指標を達成するとともにスポーツ・文化活動において近畿大会や全国大会への出場に繋げることができた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>絵本の読み聞かせや絵本のプレゼントにより、家庭での親子読書の推進に努めることができた。また、子どもの読書意欲の向上と読書の普及を図ることができた。</p> <p>地域に開かれた学校づくりや亀岡への愛着が深まるようなふるさと学習の推進、スポーツ・文化の振興や科学やものづくりへの興味関心を高めることで、児童生徒の豊かな人間性や生きる力を育むことができた。</p>
	<p>その他の成果</p>	<p>民間保育園の施設運営や障害児保育事業を支援し、子どもを安心して産み育てられる環境の充実につなげることができた。また、障害者就労支援事業において、障害者の社会参加の促進につなげることができた。安心長寿の福祉助成事業や敬老事業により高齢者が健康で元気あふれるまちづくりの推進につながった。</p>

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	セーフコミュニティ推進プロジェクト		実施期間	H28年度～H31年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	市民の誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりをめざし、セーフコミュニティの推進を軸とした市民の参画と協働の仕組みづくりを進め、安全・安心を守る地域活動に活かしていくこととする。							
プロジェクトの目的及び概要	子どもや高齢者の事故やけが、また虐待や自殺、さらには犯罪や自然災害など、地域社会における安全・安心をめぐるさまざまな課題や不安に関わって、これらの問題を原因とする不慮の事故の予防や犯罪に対する対応策として事業を実施する。							
	総事業費（千円）	128,599	本年度事業費（千円）	37,110	交付金額（千円）	14,288		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	公立保育所ISS推進事業	交付対象	公立保育所施設の点検及び修繕等の安全管理を行うことで、保育環境の充実を図る。			公立保育所ISS推進に係る修繕 20件		
	高齢者運転免許証自主返納支援事業	交付対象	加齢による身体機能や判断力の低下等により、運転に不安を感じる方を対象に、自主的に運転免許証の返納を促す。			運転免許証返納者数 269名		
	防犯カメラ設置事業	交付対象	防犯カメラの設置を促進することで、犯罪や事故を未然に防止し、安全安心なまちづくりを推進する。			防犯カメラ新規設置台数 7台		
	通学安全対策事業（スクールバス購入経費）	交付対象	山間部地域の遠距離通学児童の交通手段及び安全確保のため配備しているスクールバスについて更新を行う。			スクールバス配備 1台		
住民 協働 事業	学校安全対策員配置事業	交付対象	児童生徒の安全確保のため、学校安全対策協力員を各小・中学校、義務教育学校に配置し、見守り活動を実施する。			1校あたりの1箇月平均配置日数 17日		
	セーフコミュニティ（SC）推進事業	交付対象	事故やケガは予防することができるという理念のもと、地域住民と協働により、セーフコミュニティ活動を推進する。			セーフコミュニティ視察対応 2団体28人		
	インターナショナル・セーフスクール（ISS）推進事業	交付対象	ISSの活動を通して誰もが安全に、安心して過ごせる学校・保育所づくりを推進する。			セーフスクール会議 4回開催		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	犯罪発生の抑制 （街頭犯罪認知件数 H27：253件 → H30：145件）			成果指標の実績値 （H30年3月31日時点）	平成30年度街頭犯罪認知件数：119件		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	セーフコミュニティ活動を通して、安全安心なまちづくりを推進することができ、犯罪発生の抑制にも効果があったため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）				（時期）	
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	防犯カメラ設置個所の増設 （H27：2台 → H30：5台）			成果指標の実績値 （H30年3月31日時点）	平成30年度防犯カメラ設置数：7台		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	防犯カメラの設置台数の目標に達したため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）				（時期）	

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 亀岡市

成果指標 ③	成果指標の目標数値	学校安全対策員延べ取組日数 (H29: 4,671 → H30: 4,710)		成果指標の実績値 (〇年〇月〇日時点)	平成30年度学校安全対策員延べ取組日数: 4,574日
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	気象警報等による休校日の影響で、目標数値は下回る結果となりましたが、各学校平均で1箇月17日の見守り活動が実施されていることから、児童生徒の安全確保の取り組みが推進できているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ④	成果指標の目標数値	スクールバス更新 (H30: 1台)		成果指標の実績値 (H30年3月31日時点)	平成30年度スクールバス更新: 1台
	成果指標の達成状況	◎		成果指標どおり、スクールバス1台を更新・配備したため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果  ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>セーフコミュニティ活動を推進することで、街頭犯罪認知件数の抑制に繋げることができた。                      高齢者運転免許証自主返納支援事業や防犯カメラ設置事業を推進することで、安全・安心を守る地域活動を活性化させることができた。                      保育所(園)、小中学校における安全対策に取り組むことで、児童生徒の安全確保を図るとともに、住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりを推進することができた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	セーフコミュニティ活動(交通安全や防犯対策等)を通じて、京都府や京都府警、京都中部広域消防組合とより深い連携体制を構築することができた。			
	住民の自治意識を高める成果	多くの自治会において防犯カメラの設置が進んだことから、安全・安心を守る地域活動が活性化し、住民の自治意識の高揚に繋がった。			
	リーディング・モデル成果	国内初のセーフコミュニティ認証を取得した本市において、その取り組みや活動状況を全国へ発信することで、国内では新たな認証自治体が次々と誕生しており、リーディング・モデルとしての役割を果たしている。			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	人と環境にやさしい資源循環型まちづくりプロジェクト		実施期間	H28年度～H31年度	テーマ	その他（資源循環）	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	大量生産・大量消費・大量廃棄型のライフスタイルから、天然資源の消費抑制と環境負荷の低減をめざしたライフスタイルへの転換を図るため、地域住民・事業者・行政が協働して3R【Reduce（リデュース=発生抑制）、Reuse（リユース=再使用）、Recycle（リサイクル=再生利用）】を徹底することで、「もったいない」に代表される、物を大事にする日本独自の心が見つめ直され、環境にやさしい啓発意識をより一層向上することができるものとする。							
プロジェクトの目的及び概要	地域住民・事業者・行政・NPO等が知識や知恵を最大限に活用できるような環境をつくるため、各団体の協力により、資源を循環させる体制が広く普及することを目的として、ごみの分別資源化・減量化・啓発活動等を実施する。							
	総事業費（千円）	157,371	本年度事業費（千円）	23,918	交付金額（千円）	9,443		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	資源化等推進事業	交付対象	ペットボトル等資源回収、使用済小型家電収集運搬			ペットボトル分別収集 29,970kg プラスチック製容器包装中間処理業務搬出量 688,160kg 使用済小型家電収集 4,573kg		
	資源循環型まちづくり事業	交付対象	市内分別収集用コンテナ更新			分別収集用コンテナ更新 895箇所		
	環境保全対策事業	交付対象	自動車騒音監視業務			対象路線 4路線		
住民 協働 事業	資源循環型まちづくり事業	交付対象	地域住民環境活動補助			地域住民集団ごみ回収量 2,548,155kg		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	プラスチック製容器包装中間処理業務委託 搬出量 H29：680,580kg/年 ⇒ H30：690,000kg		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）		プラスチック製容器包装中間処理業務委託 搬出量 H30：688,160kg/年		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	市民、事業者の協力を得てごみの減量・資源化を推進した。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）				（時期）	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	環境負荷の低減を目指したライフスタイルを環境に関する広報物等で周知することで、家庭ごみを適正に分別することに努めた。また、ペットボトルの分別収集、使用済小型家電の回収によりリサイクルを推進し、資源化とごみの減量化に努めた。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。							
本プロジェクトに 対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	地域住民の資源ごみ集団回収量に対して支援することで、地域住民の資源ごみに対する意識を高めることができた。						
	広域的波及成果	資源化等推進事業・資源循環型まちづくり事業では、自治会やNPO、高齢者との協同、そして小学校での活動を通して幅広い世代に環境にやさしい啓発意識をより一層向上することができた。環境保全対策事業では、自動車騒音や不法投棄を監視することで、モラルを改善させ、市民がより暮らしやすいまちづくりの推進に繋がった。						